

給与支払報告 特別徴収 にかかる給与所得者異動届出書

※ 処 理 項	1. 現年度	2. 新年度	3. 両年度

◎異動があった場合は、非課税の方も含めてすみやかに提出してください

4 3
1 2
注意
は、前勤務先で本人から番号の提供を受け記載してください。また前勤務先が個人事業主の場合、「給与支払者」の「給与支払者」の「個人番号」を記載してください。また前勤務先が個人事業主の場合、「給与支払者」の「給与支払者」の「個人番号」を記載してください。また前勤務先が個人事業主の場合、「給与支払者」の「給与支払者」の「個人番号」を記載してください。

令和 × 年 ○ 月 △ 日	〒 012 - 3456	〇〇県 × × 市 △△1-2-3
〇〇〇 市町村長殿	株式会社 ○×商事	
(特別徴収義務者)	代表取締役 特徴 太郎	代表印
	個人番号又は法人番号	11111 1111 1111

特別徴収義務者 指定番号	1234567
宛名番号	123
係	人事課
連絡者の係及び氏名並びにその電話番号	特徴 花子
電話	(0000) 00 - 0000 番

給与所得者	(ア)	(イ)	(ウ)	異動年月日
フリガナ	特別徴収税額 (年税額)	徴収済税額	未徴収税額 (ア) - (イ)	
氏名	140,000 円	6 月から 8 月まで	9 月以降	令和 × 年
個人番号		35,600 円	104,400 円	8 月 31 日
旧住所				
現住所				

異動の事由	異動後の未徴収税額の徴収	一括徴収した税額は	退職した年の1月から退職時までの給与支払額
<input checked="" type="checkbox"/> 1 退職(普/障) <input type="checkbox"/> 2 転勤 <input type="checkbox"/> 3 休職 <input type="checkbox"/> 4 長期欠勤 <input type="checkbox"/> 5 死亡 <input type="checkbox"/> 6 合併 <input type="checkbox"/> 7 会社解散 <input type="checkbox"/> 8 住所誤報 <input type="checkbox"/> 9 その他 (特別徴収不可)	1 特別徴収継続 2 一括徴収 <input checked="" type="checkbox"/> 3 普通徴収 ※3を選択した場合は、一括徴収できない理由を選択してください。	月分 納入します。	1,200,000 円 控除社会保険料額 60,000 円

◎退職等による残税額の「一括徴収」について次の欄に記載してください。

8月末で退職した給与所得者の徴収方法を、9月分から普通徴収に変更する場合。

- (ア) 特別徴収税額(年税額) 140,000円(6月から翌年5月分)
- (イ) 徴収済税額 35,600円(6月から8月分)
- (ウ) 未徴収税額 104,400円(9月から翌年5月分)

↑
普通徴収税額

一括徴収しない理由	1 異動の日が6月1日～12月31日までの間で、本人から申し出がないため。 2 異動の日が1月1日～4月30日までの間で、残税額(上記(ウ)の額)を超える給与、または退職手当の支払いがないため。 <input checked="" type="checkbox"/> 3 異動の事由のとおり
-----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

1 普B	他の事業所で特別徴収(例:乙欄適用者)	退職手当等の支払額(支払金額)
2 普C	給与が少なく税額が引けない(例:年間の給与支給額〇〇万円以下)	3,000,000 円
3 普D	給与の支払いが不定期(例:給与の支払いが毎月でない)	勤続年数
4 普E	事業専従者(個人事業主のみ対象)	20 年

◎就職・転勤等により新しい勤務先において特別徴収を希望される場合は、次の欄に記載してください。

1. 就職 2. 転勤 3. その他 のうち、 該当番号 番により、 普通徴収の 期から 4期までを 月分から 特別徴収し納入する。	(特別徴収義務者)	所在地	郵便番号	特別徴収義務者 指定番号
		フリガナ		
		名称		係
		代表者の職氏名印		氏名
		個人番号又は法人番号		電話 () - 番
				給与支払方法及びその期日
				特徴納入書の送付
				必要 不要